

# HM903D B1

## 取扱説明書 【保証書付】

### もくじ

安全にご使用いただくために .....	1
ご使用の前に .....	6
特長 .....	6
標準付属品 .....	6
Windows 95/98/2000/Me/XPをお使いの方へ .....	6
各部のなまえ .....	7
コンピュータとの接続 .....	8
操作手順 .....	9
調整メニューの内容 .....	10
パワーマネジメント機能 .....	16
自己診断表示機能 .....	16
故障かなと思ったら .....	17
クリーニング .....	19
アフターサービス .....	20
保証書/保証期間について .....	20
修理サービス .....	20
オプション部品 .....	20
リサイクル/廃棄について .....	20
付録 .....	21
一般仕様 .....	21
プリセットモード .....	22
信号入力コネクタのピン配列 .....	22



### 重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。



## 警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## VCCI (電波障害自主規制)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードは付属のものを使用すること。

## ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR®プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

## 高調波ガイドライン適合品

本装置は、通商産業省通知の家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

## 国外での使用禁止

本製品は、日本国内専用に製造、販売されています。日本国外ではご使用できません。

This monitor is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら販売店までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

## 愛情点検

長年ご使用のモニタの点検を！



ご使用の際  
このようなことは  
ありませんか

- 電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- キャビネットが異常に熱い。
- 煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- 使用中に異常な音や振動などがある。
- その他の異常や故障がある。



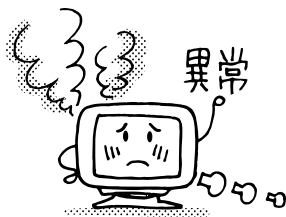
ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイヤーマサービスセンターにご連絡ください。  
点検・修理に要する費用などは販売店またはイヤーマサービスセンターにご相談ください。

# 安全にご使用いただくために

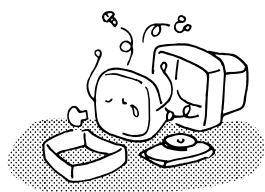
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

## 警告



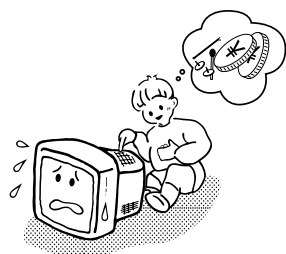
### 万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



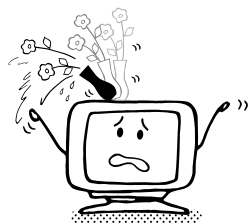
### キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店またはイヤマサービスセンターにご依頼ください。



### 異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。

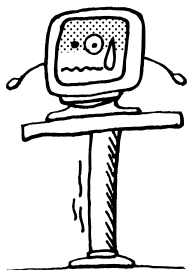


### 花瓶やコップをモニタの上に置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの上に置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。



## 警告



禁止

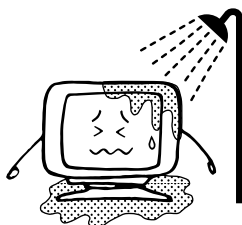
### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



プラグを  
抜く

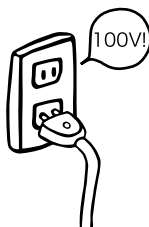
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での  
使用禁止

### 水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



### ご使用は正しい電源電圧で

交流100Vの電源電圧でお使いください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

### 付属の電源コードを使用する

これ以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。

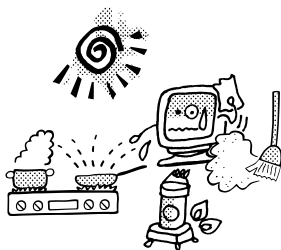


接触禁止

### 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

## ⚠️ 注意

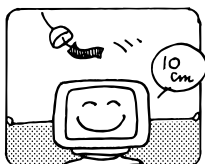


禁止

### 置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く
- × 温度変化の激しい場所



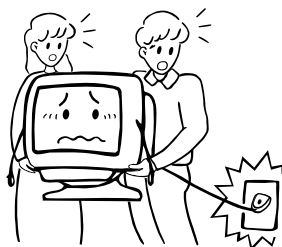
禁止

### 通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニターは周囲から10cm以上離して置いてください。



禁止

### 移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。

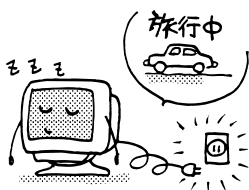
また、モニターは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。



禁止

### モニターの上に重いものをのせない、乗らない

バランスがくずれて倒れたり、落ちたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



### 旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

## ⚠️ 注意



### プラグを持って抜く

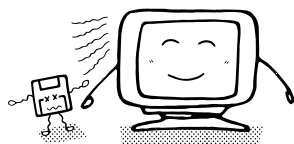
電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

### ぬれた手で電源プラグにさわらないで

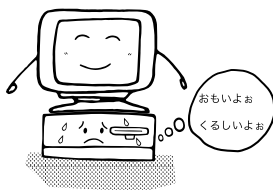
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

### モニタの近くにフロッピーディスクを置かない

モニタは一時的に強い磁気を発生するため、フロッピーディスクなど磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。



### コンピュータの上にモニタを置くと

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

# 正しくご使用いただくために

## 目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

## 磁気の影響

磁石を近づけたり、テレビやスピーカーなど磁気を発生させるものの近くに設置しないでください。色が乱れたり、画面揺れやノイズが出る原因となることがあります。

## OPQ機能(=Optimize Picture Quality)使用上の注意

OPQ機能を動作させた状態で、高輝度白マス画面(ウィンドウ)等の映像パターンを長時間表示させた場合、アパーチャグリルブラウン管の特性上、色ズレ/アパーチャグリルの絡み/揺れ/蛍光体の焼き付け等の症状が発生することがあります。

DVD等の動画ソフト再生時以外では、必ずOPQ機能をOFFにしてご使用ください。

### OPQ機能の最適画面

1. Text1モードにして使用する場合
  - ① ワープロまたは表計算
  - ② テキスト画面等
2. Pictureモードにして使用する場合
  - ① 写真等の静止画
3. Movieモードにして使用する場合
  - ① 動画の再生(DVDの動画再生/TVの再生)
4. Text2モードにして使用する場合
  - ① ワープロまたは表計算
  - ② テキスト画面等

\* Text2モードは、Text1モードに比べ文字等の輪郭を強調した設定になっています。Text1モードで文字がにじむ等の症状が発生した場合、Text2モードに設定してみてください。

**補足** OPQ機能をPictureまたはMovieモードに設定し、1、4の画面を表示した場合、“文字の右側が明るくなる”、“文字の右側が尾を引いたようになる”、“文字がにじむ”等の症状が発生し、目が疲れやすくなります。使用させる画面に適した設定でご使用ください。

## ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

スタンド部は、「USBコネクタ」付きのコンピュータに接続することによりハブとして機能しますが、コンピュータのOSやBIOSの設定状態によっては、動作しないことがあります。この場合は、まずコンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

### 特長

- ◆ 高画質・高輝度ブラウン管採用 (OPQ機能ON時 : 250cd/m<sup>2</sup>)
- ◆ OPQ機能によりデジタルカメラ編集・DVD再生に適したモード選択可能
- ◆ 印刷物・写真のイメージを把握しやすいsRGBをサポート
- ◆ 赤/青の色調を独立して調整することにより細かな色再現が可能
- ◆ 独自のGamma機能により多彩な画質に調整可能
- ◆ 1920×1440(リフレッシュレート85Hz)の高解像度をサポート
- ◆ 目に優しいリフレッシュレート103Hz時に1600×1200の解像度を実現
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応, Windows® 95/98/2000/Me/XP対応
- ◆ オートマティックランディングシステムによりわずらわしい磁界影響がありません
- ◆ 低電磁波・省電力設計 MPRⅢ適合, パワーマネージメント機能搭載
- ◆ 場所をとらないコンパクト設計
- ◆ USBハブ機能搭載
- ◆ 洗練されたサウンドテイストにこだわった、ハイサウンドスピーカー搭載

### 標準付属品

モニタ本体の他に、下記のもが全て含まれていることをご確認ください。

- 電源コード\*
- 信号ケーブルMB38 (D-SUB接続用)
- USBケーブルSU44
- オーディオケーブルAD24
- 取扱説明書/保証書(本書)
- ユーザー登録のご案内

**補足** \*必ず付属の電源コードを使用してください。これ以外のものを使用した場合、サポート及び保証の対象外となります。

### Windows 95/98/2000/Me/XPをお使いの方へ

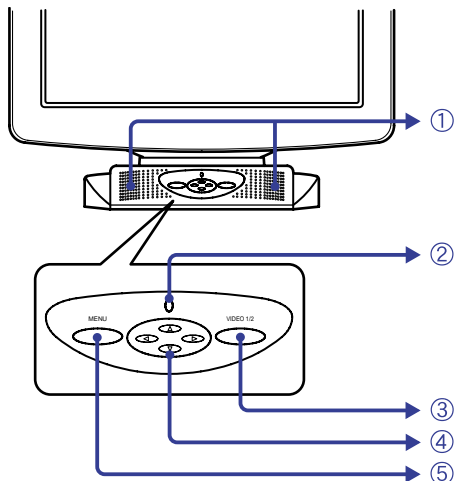
本製品のモニタインフォメーションファイルは、弊社ホームページにてダウンロードサービスを行っておりますのでご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

- 補足**
- ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。
  - MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

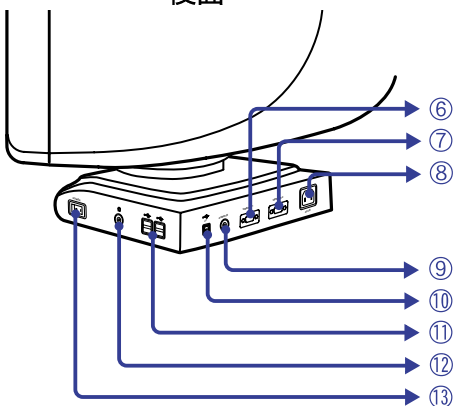
## 各部のなまえ

### 前面



- ① スピーカー  
音量調整はオンスクリーン表示にて行います。メニュー画面を表示していない時に ▶ / ◀ ボタンを押してから、すぐにメニューボタンを押します。
- ② 電源インジケータ
- ③ 入力信号切替ボタン (VIDEO 1/2)  
VIDEO IN 1と2同時に信号が入力されている時、信号入力コネクタの選択を行います。ボタンを3~4秒押し続けると、VIDEO IN 1と2が切り替わります。  
**補足** どちらか一方のコネクタに信号が入力されている場合は、自動的に選択します。選択した入力端子に何も接続されていない、またはコンピュータがパワーマネジメントモードになっている場合は、切り替えできません。
- ④ 4方向ボタン ▶ / ◀ / ▲ / ▼
- ⑤ メニューボタン (MENU)

### 後面



- ⑥ D-SUBミニ15ピンコネクタ (VIDEO IN 1)
- ⑦ D-SUBミニ15ピンコネクタ (VIDEO IN 2)
- ⑧ 電源コード接続コネクタ (AC IN)
- ⑨ 音声入力コネクタ (AUDIO IN)
- ⑩ USB-UP  
付属のUSBケーブルでUSB対応コンピュータと接続します。
- ⑪ USB-DOWN  
USB対応のマウスやキーボードなど周辺機器からのケーブルを接続します。
- ⑫ ヘッドホン端子
- ⑬ 電源スイッチ (POWER)

**注意** ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

**補足** スタンド部は、「USBコネクタ」付きのコンピュータに接続することによりハブとして機能しますが、コンピュータのOSやBIOSの設定状態によっては、動作しないことがあります。この場合は、まずコンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.22「信号入力コネクタのピン配列」参照)

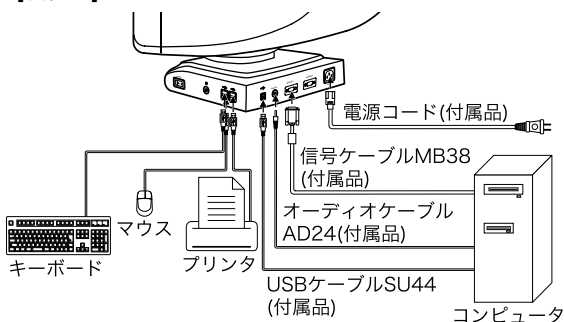
**補足** 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

- ③ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをモニターとオーディオ機器に接続します。

[接続例]

- ④ USB機能を使用する場合は、USBケーブルをモニターとUSB対応コンピュータに接続します。

- ⑤ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。



ケーブル、アダプタ等の品名を青色で記載しています。

接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニター側
AT互換機 (DOS/M) IBM NEC PC98*1	D-SUB ミニ15ピン	信号ケーブル <b>MB38</b> (付属品)		D-SUB ミニ15ピン
NEC PC98*1	D-SUB 15ピン	変換アダプタ <b>PC98</b> パーツNo.242Z020-01	信号ケーブル <b>MB38</b> (付属品)	
Macintosh*2	D-SUB 15ピン	変換アダプタ <b>MAC</b> *3 パーツNo.T985V003-30	信号ケーブル <b>MB38</b> (付属品)	

**補足** \*1 PC98シリーズでは水平周波数24.8kHz(640×400)は表示できません。ただしPC9821MATE以降のシリーズは、水平周波数を切り替えることができます。コンピュータ電源投入時に“GRPH” + “2”キーを押し、水平周波数31.5kHz(640×400)でご使用ください。水平周波数を24.8kHzに戻す場合は、コンピュータ電源投入時に“GRPH” + “1”キーを押してください。この機能がないコンピュータもありますので、前もってコンピュータの説明書をご確認ください。


\*2 Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

\*3 Power MacintoshなどのDPI-on-the-fly機能に対応したコンピュータの他、従来のMacintoshでも各種の解像度に切り替えることができます。


## 操作手順

P.22の「プリセットモード」の信号タイミングに合わせ、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、お好みの画面状態に調整し直したいときは、次の手順に従って操作を行ってください。

メインメニューで項目を選択し、サブメニューで調整や設定を行っていきます。

- ① メニューボタンを押すと、画面にメインメニューが表示されます。
- ② 例えば、水平サイズを調整したいとき、メインメニューで  (サイズ 位置調整) を ▶ / ◀ ボタンで選択し、メニューボタンを押すとサブメニューが表示されます。





























- ③ サブメニューで  (Hサイズ調整) を ▶ / ◀ ボタンで選択し、メニューボタンを押すと、調整バーが白色に変わります。▶ / ◀ ボタンでお好みの画面に調整してください。この画面では、Vサイズ調整も ▲ / ▼ ボタンで同時に調整できます。詳しくは、次ページ「調整メニューの内容」をご覧ください。
























































- 補足**
- 調整中にボタン操作を中止すると、設定した任意の時間でオンスクリーン表示が消えます。(P.14「OSDオフタイマー設定」参照)
  - 画面サイズ、位置、ピン歪、台形歪の調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。したがって色、台形バランス、コンバージェンス、モアレ調整、ランディングなどの調整を行うと、全ての信号タイミングに対して調整内容が変更されます。











































メインメニュー	サブメニュー	画面の状態/調整ボタン
明るさ 色温度調整	 コントラスト <b>ダイレクト調整</b>	弱すぎる 強すぎる    
	<b>補足</b> 入力映像信号が1.0Vp-pの時は、◀ボタンを押し続け、1.0V表示の状態で使用してください。初期設定は0.7Vになっています。	
	 ブライツネス <b>ダイレクト調整</b>	暗すぎる 明るすぎる    
	 色温度	赤みがかかったホワイト 青みがかかったホワイト    
	<b>補足</b> sRGB, 約10000K~4500Kまでの調整が可能です。初期設定は9300Kになっています。	
	<b>sRGB</b> 設定方法	
	■ 色温度が10000Kの状態からさらに▶ボタンを押すと、sRGBモードに切り替わり、色温度が6500K付近になります。	
	■ sRGBモードを解除するには、◀ボタンを押します。	
	<b>補足</b> ■ sRGBとは、機器間の色再現(色彩、彩度等)の違いを規定・統一した国際規格です。	
	■ sRGBモードでは、コントラスト、ブライツネス、赤調整、青調整OPQ、Gammaが固定値となり調整できません。	
 赤調整	弱すぎる 強すぎる    	
 青調整	弱すぎる 強すぎる    	
<b>補足</b> ■ 赤調整および青調整は、1つの色温度に対して調整が可能です。		
■ 調整後に色温度を変更すると、調整内容が出荷設定に戻ります。		
 リターン	メインメニューに戻ります	

**補足** ダイレクト調整については、P.10「ダイレクト調整」を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	画面の状態/調整ボタン
 サイズ 位置調整	 ズーム調整	 画面が小さすぎる  画面が大きすぎる
	 Hサイズ調整	 小さすぎる  大きすぎる
	 Vサイズ調整	 小さすぎる  大きすぎる
	 H位置調整	 左よっている  右よっている
	 V位置調整	 下よっている  上よっている
	 リターン	メインメニューに戻ります
 画面歪調整	 ピン歪調整	 糸巻形状歪  タル形状歪
	 台形歪調整	 台形状歪
	 台形バランス調整	 平行四辺形状歪
	 ピンバランス調整	 弓形状歪
	 傾き調整	 表示画面が傾いている
	 リターン	メインメニューに戻ります

メインメニュー	サブメニュー	画面の状態/調整ボタン								
画質調整	  Hコンバージェンス	縦線の赤/青がズれている   								
	 Vコンバージェンス	横線の赤/青がズれている   								
	 Hモアレ調整	 縦縞模様が現れる   								
<b>補足</b> モアレとは映像信号とブラウン管の蛍光体ピッチとの干渉によって生じる縞模様で、縞模様の周辺では文字が見にくくなる(部分的にフォーカスが悪く見える)場合があります。モアレが気になるときは水平/垂直サイズ調整の設定の変更することで多少目立たなくなります。また、デスクトップパターンの種類によってモアレが特に目立つことがありますので、パターンを変えてみてください。それでも気になるときに、この調整を行ってください。ただし、補正量を多くしすぎると画面が揺れる場合があります。										
 OPQ 	<table border="1"> <tr> <td>Text1</td> <td>ワープロ,表計算,テキスト画面等</td> </tr> <tr> <td>Picture</td> <td>写真等の静止画</td> </tr> <tr> <td>Movie</td> <td>動画の再生(DVDの動画再生/TVの再生)</td> </tr> <tr> <td>Text2</td> <td>ワープロ,表計算,テキスト画面等</td> </tr> </table>	Text1	ワープロ,表計算,テキスト画面等	Picture	写真等の静止画	Movie	動画の再生(DVDの動画再生/TVの再生)	Text2	ワープロ,表計算,テキスト画面等	
Text1	ワープロ,表計算,テキスト画面等									
Picture	写真等の静止画									
Movie	動画の再生(DVDの動画再生/TVの再生)									
Text2	ワープロ,表計算,テキスト画面等									
<b>補足</b> ■ Text2 モードは、Text1 モードに比べ文字等の輪郭を強調した設定になっています。Text1 モードで文字がにじむ等の症状が発生した場合、Text2 モードに設定してみてください。 ■ ダイレクト調整については、P.10「ダイレクト調整」を参照してください。										
 Gamma		中間階調を明るくしたい   中間階調を暗くしたい  								
 消磁 <b>補足</b> 消磁は連続して行うことはできません。一度消磁をした後は、30分以上の間隔をおいて行ってください。消磁作動中は画面が大きく揺れ、ブーンと音がしますが、故障ではありません。		電源を入れると自動的に消磁されますが、その後通電状態で回転させたり、置き場所を移動させたりすると画面に色むらが生じることがありますので、このメニューを選択し消磁を行ってください。それでも色むらが解消されない場合には、ランディング調整を行ってください。								
 リターン		メインメニューに戻ります								

メインメニュー	サブメニュー	画面の状態/調整ボタン	
 ランディング	 ランディング TL	 色むらが出る  	
	 ランディング TR	 色むらが出る   	
	 ランディング BL	 色むらが出る  	
	 ランディング BR	 色むらが出る   	
	 リターン	メインメニューに戻ります	
 ファンクション	 OSD H位置	OSDが左によっている   OSDが右によっている  	
	 OSD V位置	OSDが下によっている   OSDが上によっている  	
	 OSDオフタイマー設定	3 5 15 30 45 sec 3秒~45秒まで、オンスクリーン表示が消えるまでの時間を設定します	
	 言語選択	English	英語表示
		Deutsch	ドイツ語表示
		Français	フランス語表示
		Nederlands	オランダ語表示
		Svenska	スウェーデン語表示
	Japanese	日本語表示	
	 Lockout	オン	Lockout以外のすべての調整がロックされます
オフ		ロックが解除されます	
 セーブリセット	Auto	オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が自動的に記憶されます	
	<b>補足</b>	この間に電源を「OFF」しないでください。	
	Reset	工場出荷設定に戻します	
	<b>補足</b>	このリセット操作を行うと、工場プリセットモードに対してお客様が調整した全てのデータが消去され、工場出荷設定に戻ります。ただし、工場プリセットモード以外の信号タイミングの場合には、サイズ、位置、糸巻歪、台形歪のデータはリセットされません。	
 リターン	メインメニューに戻ります		

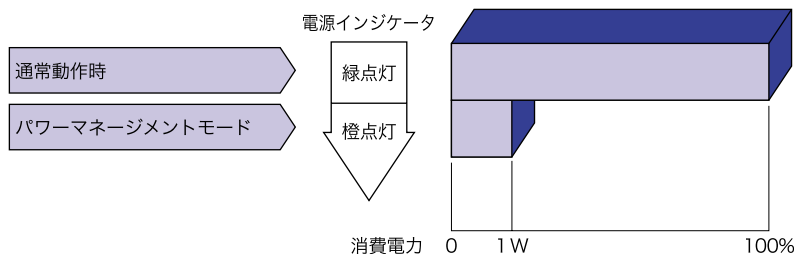
メインメニュー	サブメニュー		画面の状態
 Help	 Help	オン	サブメニューアイコンを選択するたびに、そのメニュー項目の内容説明が表示されます
		オフ	ヘルプが非表示になります
	 Information		製品の型名、製造番号、現在受像している信号の水平および垂直周波数が表示されます
	 リターン		メインメニューに戻ります

## パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR<sup>®</sup>、VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

### ■ パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード(消費電力 1W以下)となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は約10秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



- 補足**
- パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
  - 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。
  - コンピュータを2台接続(VIDEO IN1と2に接続)してご使用の場合、コンピュータが2台とも上記パワーマネージメントモードの条件を満足したときのみ、パワーマネージメント機能が動作します。

## 自己診断表示機能

本製品は、自己診断表示機能を搭載しています。本製品またはコンピュータに異常が起き、映像が消えて電源インジケータが緑色または橙色で点灯している場合に、次の方法で自己診断をすることができます。

### ■ 診断方法

- ① 信号ケーブルをコンピュータから取り外す、またはコンピュータの電源をOFFにする。
- ② モニタの電源をONにする。

### ■ 診断結果

- ① カラーバーが表示される場合  
モニタは正常です。コンピュータの状態を再度確認してください。
- ② カラーバーが表示されない場合  
モニタが故障している可能性があります。お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。

# 故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイヤマササービスセンターにご連絡ください。

## 症状

## チェックポイント

### ① 映像が出ない

(インジケータ点灯せず)

- 電源コードが確実に接続されていますか？
- 電源スイッチが「ON」されていますか？
- 電源コンセントに電気がきていますか？別の機器で確認してください。

(インジケータ緑色)



P.16「自己診断表示機能」参照

- ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
- コントラストおよびブライトネスが最小になっていませんか？
- コンピュータの電源は入っていますか？
- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

(インジケータ橙色)

P.16「自己診断表示機能」参照

- パワーマネージメント状態ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
- コンピュータの電源は入っていますか？
- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

### ② 画面が乱れている



- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

### ③ 画面の位置が片寄っている



- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

### ④ 画面が明るすぎる／暗すぎる

- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？  
コンピューターの映像出力レベルの違いにより、画面が明るくなる場合があります。この場合には、適度の明るさとなる様にコントラストを調整してください。

## 症状

### ⑤ 画面が揺れる



### ⑥ 音が出ない

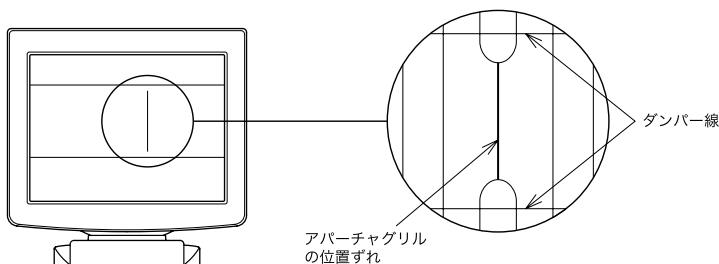
### ⑦ 音が大きい/小さい

### ⑧ 異音がする

## チェックポイント

- テレビやスピーカーなど磁気を発生させるものがモニタの周囲にありませんか？また、近くに高圧線や電車が通っていませんか？モニタの向きや設置場所を変えてみてください。
- 電源電圧は正常ですか？タコ足配線はやめてください。
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- モアレ補正量が多すぎませんか？
- オーディオ機器(コンピュータ等)の電源は入っていますか？
- オーディオケーブルが確実に接続されていますか？
- ヘッドホンが接続されていませんか？ヘッドホンを外してください。
- 音量調整が最小になっていませんか？
- オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
- オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
- オーディオケーブルが確実に接続されていますか？

次の様な画面症状は故障ではありません。



### 画面に黒い縦線が生じる

アパーチャグリルブラウン管は、まれに輸送中の振動や衝撃等でアパーチャグリルの位置ずれによる黒い縦線が生じることがあります。この様なときは、モニタの側面を手で軽くたたいてみてください。それでも直らないときは次の操作を行ってください。

- ① 全白画面を表示し、位置ずれエリアを明確にします。
- ② コントラストとブライトネスの調整レベルを最大にし、WindowsやMacintoshのウィンドウ機能を使用して高輝度白マス画面(ウィンドウ)を位置ずれエリアに表示します。その他の部分は壁紙や色設定などで黒画面にします。しばらくすると元に戻ります。

### 画面に2本の横線が見える

画面上に細い2本横線が見えますが、これはブラウン管の構造上必要なダンパー線と呼ばれる鉄線の影です。アパーチャグリルブラウン管を搭載したすべてのモニタに見られるものです。

# クリーニング

**警告** ■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

**注意** ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

## 補足

- ブラウン管表面には反射や静電気を抑えるための特殊コーティングを施してありますので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。
- キャビネットやブラウン管を痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

**キャビネット** 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

**ブラウン管** 乾いた柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、水、エタノールを薄めたもの(濃度15%以下)、中性のガラスクリーナーや洗剤をご使用ください。

## アフターサービス

### 保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は本体お買い上げ日より3年間です。ただし、中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。  
また、CRTの保証期間は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下・焼き付き・フォーカスの劣化・コンバーゼンスの劣化等による経年劣化の場合は、保証の対象になりません。

### 修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。  
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイヤマサービスセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。

### オプション部品

- オプション部品をご注文の際にはP. 8の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

### リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル/廃棄については、イヤマ販売へお問い合わせください。

# 付録

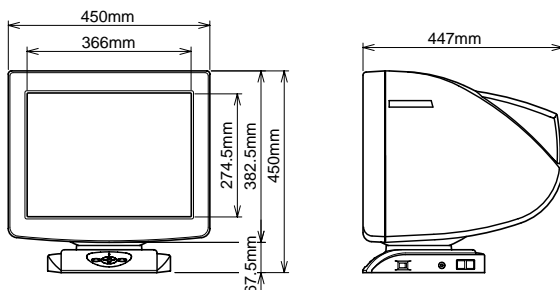
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

## 一般仕様

ブラウン管	19" (表示領域 18.0" /46cm) AGピッチ：0.24mm アパーチャグリル, 偏向角90°, 短残光, 低反射帯電防止コート
走査周波数	水平：30.0~132.0kHz 垂直：50~200Hz
映像帯域	345MHzドットクロック
推奨解像度	1280×1024 @100Hz
信号入力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ×2
プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B™対応
入力同期信号	セパレート同期： TTL, 正極性/負極性 コンポジット同期*1： TTL, 正極性/負極性 シンク・オン・グリーン*1： 0.3Vp-p, 負極性
入力映像信号	アナログ：0.7Vp-p(標準), 1.0Vp-p, 75Ω, 正極性
画面情報メモリー数	プリセット：9種, ユーザー設定：最大9種
音声入力コネクタ	φ3.5mm ミニジャック(ステレオ)
入力音声信号	0.7Vrms(最大)
スピーカー	1W×2(アンプ付きステレオスピーカー)
ヘッドホン端子	φ3.5mm ミニジャック(ステレオ)
標準表示範囲	水平：360mm 垂直：270mm
USB規格 コネクタ形状	Rev. 1.1 適合 セルフパワーダハブ Upstream：シリーズB, Downstream：シリーズA
USB内蔵ポート数	1 Upstream (コンピュータ側), 4 Downstream (周辺機器側)
入力電源 消費電力	AC100V 50/60Hz 145W(最大) 125W(Windows使用時：1280×1024 @100Hz) *2 パワーマネージメントモード時：1W以下 *2
外形寸法、重量	450(幅)×450(高)×447(奥行)mm, 24kg
角度調節範囲	左右各45° 上方向11° 下方向5°
環境条件	動作時：温度 0~35°C 保管時：温度 -20~60°C 湿度 10~80%(結露なきこと) 湿度 5~90%(結露なきこと)
適合規格	VCCIクラスB

**補足** \*1 システムによっては対応できない場合があります。

\*2 USB/オーディオ機器未接続時。



## プリセットモード

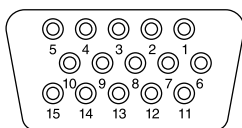
本製品は下表の信号タイミングに対応した画面情報がプリセットしてあります。

ビデオモード	解像度	水平周波数	垂直周波数	同期信号極性	
				水平	垂直
VESA	640×400	31.47kHz	70.0Hz	負	正
	640×480	31.47kHz	59.9Hz	負	負
	640×480	43.27kHz	85.0Hz	負	負
	800×600	53.67kHz	85.1Hz	正	正
	1024×768	68.68kHz	85.0Hz	正	正
	1280×960	85.94kHz	85.0Hz	正	正
	1280×1024	91.15kHz	85.0Hz	正	正
	1600×1200	106.25kHz	85.0Hz	正	正
	1920×1440	128.52kHz	85.0Hz	正	正

**補足** 信号タイミングは、各社のグラフィックボードやコンピュータにより多少異なりますので、画面サイズ、位置などの微調整が必要です。

## 信号入力コネクタのピン配列

### D-SUBミニ15ピンコネクタ



D-SUB

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤ビデオ	9	
2	緑ビデオ/シンク・オン・グリーン	10	接地
3	青ビデオ	11	接地
4		12	データライン(SDA)*
5		13	水平同期/コンポジット同期
6	赤ビデオ接地	14	垂直同期
7	緑ビデオ接地	15	クロックライン(SCL)*
8	青ビデオ接地		*VESA DDC 規格に準拠





## 〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイーヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。  
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
  - (1)保証書をご提示されないとき。
  - (2)本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
  - (3)火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
  - (4)お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
  - (5)取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。